

高山市に派遣の国際交流員・研修員 交流深め帰国

(帰国にあたり市民のみなさんへメッセージが寄せられました)

中国雲南省からの国際交流員李学奇さんと、友好都市麗江市からの研修員和復光さんと和曉燕さんが帰国されました。
李さんは、平成21年4月に着任し、中国語講座をはじめ各交流事業、また和さんらは平成22年7月に着任し、観光や教育業務に活躍しました。
帰国にあたり3人は國島市長から「親善交流大使」に委嘱され、両国の友好の架け橋になっていただくようお願いされました。

李学奇さん 「旅立ちの日」

延々と起伏する山々、静かに流れる透きとおった川々、いつも優しい笑顔を見せる人々。

飛驒高山に来て2年、いつも故郷に帰っているかのように感じさせられ、たびたび我が故郷「彩雲之南」を思い出させられました。思えば、小さい頃から実家を離れ、よその学校へ通っていました。中学校は隣の町、そして高校はもっと遠い町、大学になるとすっかり違った様子の都会まで来ていました。

あの時は学校の寮に住んでいて、週末しか家に帰れませんでした。しかし、家に帰ると、悩みや辛いことがすべてどこかに飛んでいきます。いつも日曜日の夕方に実家を離れ、学校に戻る時、後にしたあの静かな町を振り返るのが怖かった。しかしこの広い世界に憧れて、故郷への思いを抑えながらいつも一人で旅に出たのです。

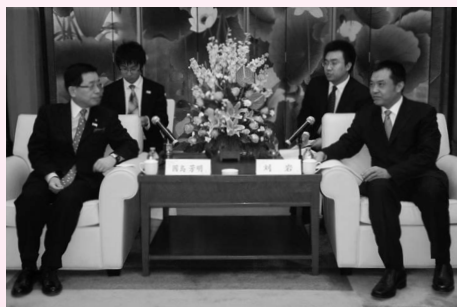
高山に来て、春夏秋冬四季それぞれの情緒が溢れるこの町に魅了されました。この町の人々も、山も、川も何もかもが優しく接して



中国語講座のようす

くれました。楽しい時も、悲しいときも、この町はさりげなく優しく包んでくれました。

いろいろと勉強させていただいた2年間でした。大変お世話になりました。ありがとうございました。再見(ザイ・ジェン)！高山。



市長の大連市訪問時には通訳として活躍(写真左から2番目)

和曉燕さん

高山での研修は楽しく、とてもいい勉強になりました。日本の文化、歴史と美しい自然を味わうことができたと同時に、文化財に関して、高山の進んだ取り組みを勉強できました。



中日交流サロンで参加者のみなさんと

高山市では、有形無形の文化財保護を大事にされ、市や文化財の所有者などが、市民などと協働して取り組むことがよい勉強になりました。また、高山の国際観光都市としての先進的な取り組み、環境保全などについても学ぶことができました。この高山での経験は私にとって一生の宝物です。中国に戻ったら日本で得た知識をいかして、麗江古城の保存に生かせればと思います。

今後は麗江と高山の友好交流のために、力を尽くしたいと思います。本当にありがとうございました。

和復光さん

私は初めは日本語が不安でしたが、そんな心配は高山の友達のおかげですぐなくなりました。

高山での生活は楽しく充実しており、様々な場面で研修ができました。住めば住むほどこの町の魅力をよく感じるようになりました。高山はすごく綺麗で地元の人々も優しいです。今回の研修では、飛驒の里や観光案内所などでいろいろ学べました。



飛驒の里での研修中

夏には「ちよけらまいか」、秋には清見の紅葉、冬にはスキーもしました。奥飛驒温泉郷での温泉体験も良い思い出となりました。

今回の研修により日本に対して新しい認識ができました。心より高山市民の皆さんに感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。